

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯山仏壇「思い出供養・命の器」プロモーション展開事業
事業主体 (連絡先)	飯山仏壇事業協同組合 明石 洋一 (電話090-8505-7478)
事業区分	その他特色個性を生かした産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,495,250円 (うち支援金: 670,000円)

事業内容

令和3年度は、「思い出供養」という新しい考え方に基づく新商品の「命の器」の商品化、そして販売のために、令和2年度で製作した試作品をさらに売れる商品へのブラシアップと、さらに消費者の創造を超える新たな形(サーカステント風)の商品化に向けて動き出します。併せて、その商品や取組の情報発信・PRを行います。



【飯山仏壇通りポスター展】

事業効果

新たなコンセプトによる新商品「思い出供養・命の器」を開発販売することで、今までにない新たなニーズへ適用可能となり、新商品の販売促進と併せて飯山仏壇の知名度アップ(ブランド化)につなげていきたいと考える。

今年度は、新商品の販売に向けて各種の試作品を製作する予定でしたが、コロナ感染拡大の影響が大きく、制作するための機械の購入ができなかったり、広報活動も思うようにできませんでした。

しかしながら、試作品を製作については、業者委託をすることで、来年度の商品化に向けての下地づくりができたことは、今後の商品化に向けて前進することができました。

【目標・ねらい】

新たなコンセプトによる新商品「思い出供養・命の器」を開発販売することで、新商品の販売促進と併せて飯山仏壇の知名度アップ(ブランド化)につなげる。

※自己評価【C】

【理由】

次年度に新商品を販売するための試作品製作は精度の高いものができ、販売への可能性が高まったが、一方でコロナの関係でPR活動が思うようにできなかった。

今後の取り組み

令和4年度は、令和3年度で製作した各種の試作品の内、特に蓮の花の形状の「命の器」を売れる商品へとブラシアップから販売へ、そしてその商品の情報発信等プロモーションを推進させます。

新商品の製作にあたっては、過去から受け継がれる飯山仏壇の伝統技術を活用しますが、まずは、その木地製作にあたっては、必要となる機械設備(ソフトを含む)の導入を行います。併せて、「命の器」という新たな提案商品を、記者会見での発表、また首都圏でのイベント展示(ギフトショーでの展示)や各種の媒体を活用、飯山仏壇通りの店舗での大型ポスター展示などにより、プロモーションを展開していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある